

漢方  
小児科 婦人科  
内科 産科  
浮田医院  
だより



第 77 号  
医療法人 せゝらぎ会  
発行所：浮田医院  
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28  
TEL 0740-32-3751  
FAX 0740-32-3795  
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>  
e-mail: [kanpou@ukita.gr.jp](mailto:kanpou@ukita.gr.jp)  
発行日：2008年7月5日(土)  
発行者：浮田 徹也



## 漢方薬のよさ(77) 子宮筋腫Ⅲ

あじさいが美しく咲いています。私の書斎から鉢に植えられた青や白や紅色の花が見えます。仕事の合間に見る花に感動を覚えほつとします。

六月、日本東洋医学会総会が十五年前と同様仙台で開催されました。学会の合間に、伊達政宗公の騎馬像、仙台城跡、瑞鳳殿、東照宮などを訪れましたが、私の記憶の悪さ、曖昧さに情けなくなりました。訪れたことすら記憶にないのです。宿は同じ「宗園」でした。十五年前と同じく門、玄関、ロビー、畳の廊下、部屋、浴場、庭園など行き届いていました。旅館の方々の日々の努力の賜物でしょう。

今月は、京都で漢方研究会、大阪で日本東洋医学会役員会があります。皆から多くのことを学んで

来ます。

### 子宮筋腫のお話です。

月経過多、月経困難症や貧血のために子宮摘出や子宮筋腫核出術が実施されています。最近になって、妊娠、閉経、仕事や家庭事情などを重視し、手術の代わりに、子宮を温存し、症状改善と筋腫縮小を



蓮畑 (南条、福井県)



万病回春

目的の「低侵襲治療法」が登場してきています。その一つにホルモン療法があり、筋腫縮小効果を期待できますが、更年期様症状や骨粗鬆症などの副作用が言われています。その他、健康保険の適応ではありませんが、子宮動脈塞栓術や集束超音波療法などの治療も注目されています。いずれの場合でも、内診、超音波・MRI・血液・細胞診(子宮頸癌、体癌)などの検査で子宮肉腫、卵巣腫瘍、子宮腺筋症などを鑑別することが重要です。では実例に移ります。

三十九歳女性、一五六cm、五十kg、**子宮筋腫**、月経過多、貧血、月経痛、肩こり、腰痛、便秘にて来院。超音波検査で、四cmの子宮筋腫を認めた。子宮頸癌と体癌検査異常なし。顔色は普通、腹部は堅く、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍抵抗と圧痛。脈は沈弦、舌は、淡紅色、薄白苔、乾燥、舌下静脈怒張。そこで、四逆散、桂枝茯苓丸、大黃、サフランを処方。二ヶ月後、月経痛や月経量や便通が改善。六ヶ月後、貧血改善。二年後、子宮筋腫の大きさ変わらず。六年後、子宮筋腫二cmに縮小。八





年後、超音波検査で子宮筋腫の所見消失。再発予防に現在も漢方薬を継続中。

二十九歳女性、一六二cm、五〇kg  
**アトピー性皮膚炎**（プロトピック軟膏、ステロイドクリーム、保湿剤など使用中）、鬱病（抗鬱剤服用中）、不眠症（眠剤服用中）、皮膚掻痒症（抗アレルギー剤服用中）、便秘（下剤服用中）にて来院。

顔や頸部は薄黒褐色、ジクジクした紅斑や丘疹を、腹部は柔らかく黒褐色、痒疹、紅斑、渗出性丘疹などを多数認めた。胸脇苦満、胃内停水、臍上悸（＋）、下腹部膨満、S字状結腸部に抵抗。脈は浮、細弱。舌は、淡暗紫黑色、乾燥、無苔。瘀斑（黒い斑点多数）、舌下静脈怒張。そこで、黄耆、人參、白朮、甘草、陳皮、大棗、生薑、當歸、川芎、芍藥、地黃、黃連、黃芩、黃柏、山梔子、柴胡、升麻、梨子、防風、荊芥、何首烏、大黃を処方。二ヶ月後、ジクジクした皮膚が乾燥し始め、六ヶ月後、顔、頸部、腹部皮膚の赤みが減り、痒みも減少。二年後、抗鬱剤や眠剤を中止。三年後の現在、湯液を継続中。

二十七歳女性、**乳腺炎**、分娩後



〔院長〕

一〇日、両側乳房発赤と腫脹、体温三八℃、食欲低下。顔色紅潮。お腹は柔らかく、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸。脈は浮緊数。そこで、柴葛解肌湯を処方。乳房マッサージを実施。翌日解熱、母乳もよく出るようになった。

四十八歳女性、一五九cm、五十五kg、**高血圧**（二九〇／一〇〇）、頭痛、首や肩こり、イライラ、動悸、ほてり、汗かき、便秘、耳鳴（ザーザー音）を訴えて来院。顔はむくみ、両頬紅潮。腹は弾力性に富み、心下痞硬、胸脇苦満、両側臍傍抵抗と圧痛、下腹部は膨満して硬い。脈は浮弦数。舌は紅色、乾黄苔。そこで、大柴胡湯、黃連解毒湯、通導散を処方。一ヶ月後、症状軽減（一六〇／九〇）。六ヶ月後、一三〇／八〇。一年後の現在も継続中。

次回は、**不妊症** Ⅲです。



## アトピー性皮膚炎

大人や子供のアトピー性皮膚炎の漢方治療をしています。大人には、清熱剤や利水剤を中心に皮膚の熱や水を調整する漢方薬を、子供には虚弱な体質（胃腸虚弱）を改善する漢方薬を使用する機会が多くなっています。その他、漢方外用薬、漢方入浴剤なども用意しています。かさかさ、ジクジク、痒みなどの苦痛から解放されるようお手伝いします。



## 乳腺炎

お乳が赤くはれ、痛み、発熱を伴い、時には頭痛、悪寒、食欲低下、便秘、尿量減少を併発します。乳房マッサージ、乳房の安静（冷却）、漢方薬、抗生物質、自然植物によるシップで治療します。予防は、乳房の自己管理で、乳房と乳首の手入れが大切です。乳汁のうっ滞や肩こりを感じるときには、当院の漢方薬（乳腺①②号）を服用することをお勧めします。



## 高血圧

がっしりした肥満タイプでのぼせ、いらいら、便秘、不眠、動悸、首のこりや肩こりを訴えるタイプと青白く細い体型で、胃腸が弱く、冷え性、虚弱、肌が荒れやすいタイプがあります。

それぞれのタイプにはそれぞれ適した漢方薬を用います。腹診、脈診、舌診、問診（食欲、便通、尿量、発汗、ストレスなど）、検査などに基づいて処方を決めています。



## 当院の漢方治療



### 剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。  
当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。  
漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

### 適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

### エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病氣：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病氣、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

### 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

### 予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。(予約制、2回/月)。午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時。日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

### アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏・アガリクス
- ・メシマコブ・靈芝・AHCC・サメ軟骨

### 漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

### 健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

### 在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。  
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

### スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、ストレス・・・などの治療に利用しています。

### 皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

### 処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

## 外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

◇漢方外来(月～土):内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約一漢方外来(2回/月 土曜日):午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時  
電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日):更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日):赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日):妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料):正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月)  
産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料):午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。  
電話予約可

## 前期と中期-母親教室

日時:平成20年8月2日、9月13日の

各土曜日

対象:妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所:当院別棟 多目的ルーム 申込方法:申込ノートでご予約をお願いします。\*ご主人様もお気軽にご参加下さい。  
立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前を記入をお願いします)

## 後 期 - 母 親 教 室

日時:平成20年7月9日(水)、19日(土)、30日(水)

8月9日(土)、20日(水)、9月3日(水)

対象:妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

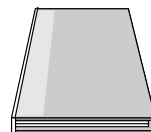
## 母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。)ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



## 万病回春(まんびょうかいしゅん)

龔廷賢が金元の処方と自分自身の経験から、『万病回春』を作成しました(1587年)。明代の書物で、江戸初期に日本で後世派医師達に利用され、中国では、『瘟疫論』『温病條辨』『温熱病』などの温病学理論が展開される礎となりました。また、「医家十要」の中で、倫理や道徳、学識と技量など十ヶ条からなる医師の心得を取り上げています。「清温飲」「荊芥連翹湯」「潤腸湯」「清上防風湯」「清肺湯」「疎経活血湯」「通導散」「六君子湯」などが収載されています。



## 分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カードと予約金10万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

## 漢方のお茶(和中飲(わちゅういん)加減)

夏の暑さを忘れて、涼を得るお茶です。「中を和するお茶」です。「中」とは「胃腸」のことで、胃腸を調え正気を養い夏の暑さ、疲れを癒します。妊娠中の方もお飲みください。

## 従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接:随時、各種保険加入、賞与:年2回、交通費支給。

## パソコンホームページ(<http://www.ukifa.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)  
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)  
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)  
老人医療のページ(在宅療養の支援)  
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)  
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

## 正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

## 里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。  
当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

## 赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。  
日時:毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

## 入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

## 外来休診のお知らせ

8月13日～15日の間、外来を休診します。  
お産や急患はこのかぎりではありません。